

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道10号 戸次犬飼拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：大分市中判田 至：大分市大字上戸次	延長	9.9 km		
事業概要	<p>一般国道10号は北九州市門司区を起点とし、大分市、宮崎市を經由して鹿児島市に至る延長約450kmの主要幹線道路であり、東九州地域の社会、経済、文化、産業、観光等の振興を図る上で重要な路線である。戸次犬飼拡幅は起点側を大分南バイパス、終点側を犬飼バイパスと接続し、大分市と県南を結ぶ重要な区間である。</p>				
H1年度事業化	S62年度都市計画決定	H2年度用地着手	H4年度工事着手		
全体事業費	493億円	事業進捗率	90%	供用済延長	9.3km
計画交通量	32,300～55,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 2.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 19/663億円 (事業費：15/608億円 維持管理費：4/55億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 39/1,339億円 (走行時間短縮便益：36/1250億円 走行費用減少便益：2/46億円 交通事故減少便益：2/43億円)	基準年	平成16年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（総重量25tの車両が通行できない区間を解消する） ・安全で安心できる暮らしの確保（大分アルメイダ病院（三次医療施設）へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他7項目に該当</p>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>大分市をはじめとする関係3市15町4村の首長で構成される「県南道路体系整備促進期成会（会長：犬飼町長）」より整備促進の要望(H10.8.8)を受けている。</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>大野地域の人口は減少しているものの、人口当たり自動車保有台数(H2：54.8台/百人 H15：77.9台/百人)の推移は増加傾向にあり、大分市～大野地域相互間の通勤・通学者の自動車への依存が高まっている。</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成15年度末までの用地進捗率は99.9%に達し、既に9.3kmを供用している。なお、川原地区(L=0.6km)は犬飼バイパスと整合を図り、平成16年12月に同時供用済みである。</p>				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>白滝橋架替関連では新橋の平成17年度の完成に向けて事業の推進を図る。新橋供用後、不要となる旧橋(10径間)については、河川断面の障害を軽減させるため、引き続き平成18年度までに撤去する。</p>				
施設の構造や工法の変更等	<p>新技術新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図るとともに、事業の時間的コスト縮減に向けて計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。</p>				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <p>一般国道10号 戸次犬飼拡幅 L=9.9km</p> </div>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。